

連合愛知 春季生活闘争総決起集会 アピール

連合愛知は、本日ここに『私たちが未来を変える！すべての労働者の「底上げ」「底支え」「格差是正」と働き方の見直しで！』をスローガンに、2020春季生活闘争総決起集会を開催した。

日本経済について政府は、緩やかな回復基調にあるとするが、いまだに多くの働く者が回復を実感できていない。連合は、これまでの間「底上げ春闘」を掲げ、一定の成果を出してきた。この流れを止めることなく賃上げのうねりを広げ、社会全体のものにしていかなければならない。そのためには、分配構造の転換につながり得る賃上げが必要である。

また、引き続きサプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配に取り組み、とりわけ賃金水準の追求にこだわるとともに、すべての働く者に対するセーフティネットを強化していく。加えて中小組合や有期・短時間・契約等で働く仲間の賃金を「働きの価値に見合った水準」へと引き上げていく取り組みを進める。

本年4月から中小企業へも時間外労働の上限規制が適用されるなど、働き方改革が本格化していく。同一労働同一賃金の実現に向けては、法令遵守はもとより、個々人の状況やニーズに合った多様な働き方を選択できる仕組みを整え、安心・安全で働きがいある職場の構築に取り組んでいく。

また、働く者を「労働力」ではなく「人」として尊重する社会の実現に向けては、労働組合自らが仲間を増やし職場や地域で集団的労使関係を拡大していくことが重要である。連合愛知は、弱い立場で働く者を守るための取り組みに56万人組織の総力をあげる。

そして、社会の不条理や企業規模・雇用形態・男女間による格差を是正し、すべての働く者・国民の生活の底上げがはかれるよう、積極的に社会に発信し行動していく。連合がめざす「働くことを軸とする安心社会ーまもる・つなぐ・創り出すー」の実現に向け、すべての働く仲間とともに最後まで果敢に闘い抜くことをここに宣言する。

2020年2月26日



連合愛知 2020春季生活闘争総決起集会